

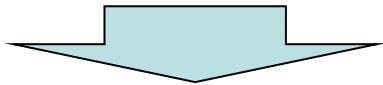
**民主改革さいたま市議団基本政策
「市民と共に明日を創る」
評価結果報告（最終）**

2022年11月12日

民主改革さいたま市議団基本政策
「市民と共に明日を創る」評価委員会

本日の内容

- ① マニフェストとは何か
- ② 評価方針・評価基準
- ③ 評価結果
- ④ おわりに



上記の内容となります。
25分程度で進めます。

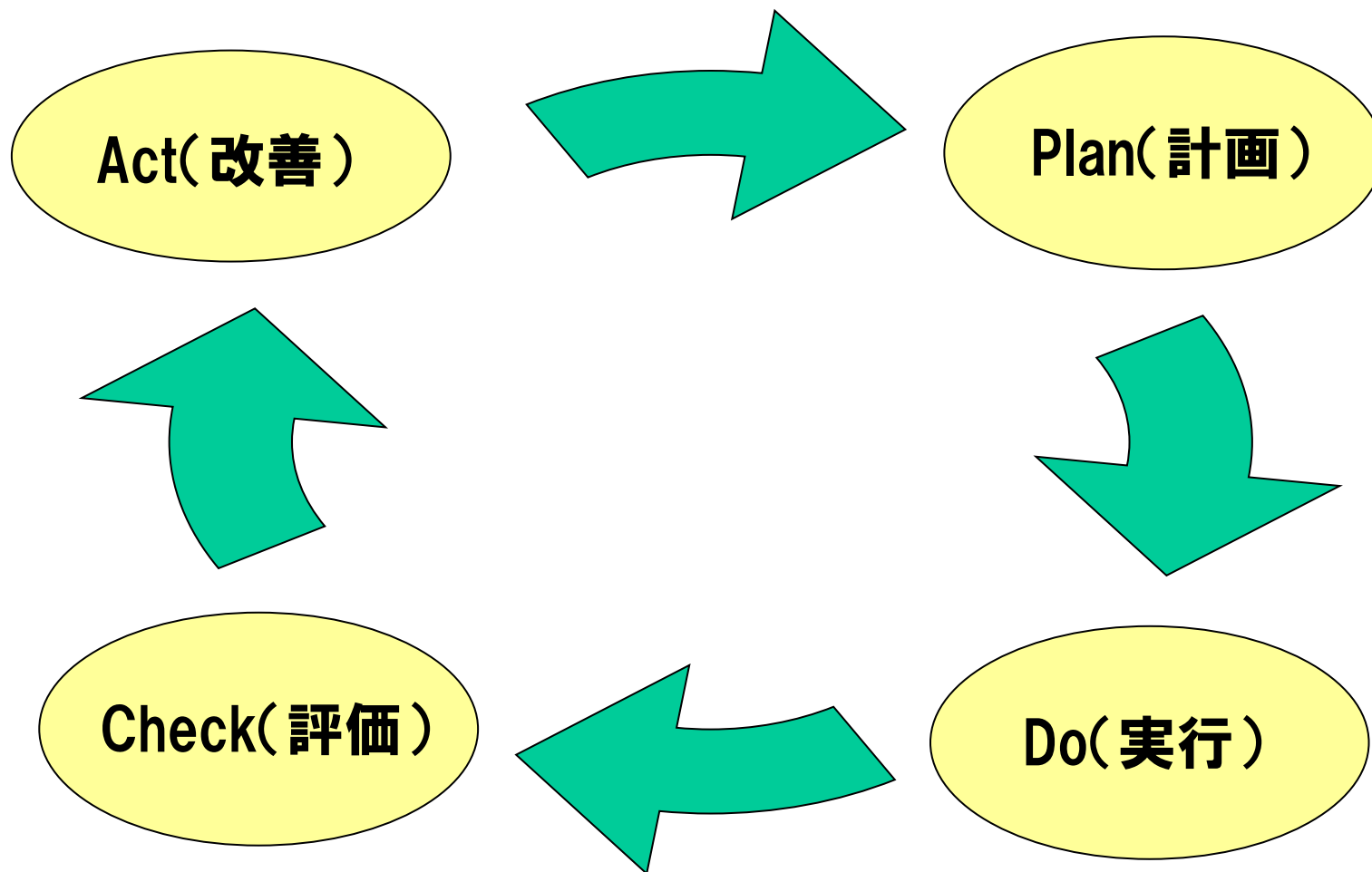
マニフェストとは何か



マニフェスト(公約)とは

- マニフェストとは、公職選挙の候補者が当選後に実現しようとする政策を検証可能な形で示した公約集である。
- 首長候補者が掲げるマニフェストとは、①何を(目標や具体的施策)、②いつまでに(期限)、③どのようにして(手段)、④どれくらい(数値)実施し、⑤お金はとれくらいかかるか(予算)、を明示する。
- 今回の議員(議会)マニフェストには、多くの制約がある。例えば、議員(議会)は予算編成権がない。執行権もない。実際の政策推進の主体者は補助機関(自治体職員)等という制度的な障害がある。
- その結果、議員(議会)のマニフェストは、ある程度、抽象的にならざるをえない(上記の①～⑤はすべて網羅できない)。

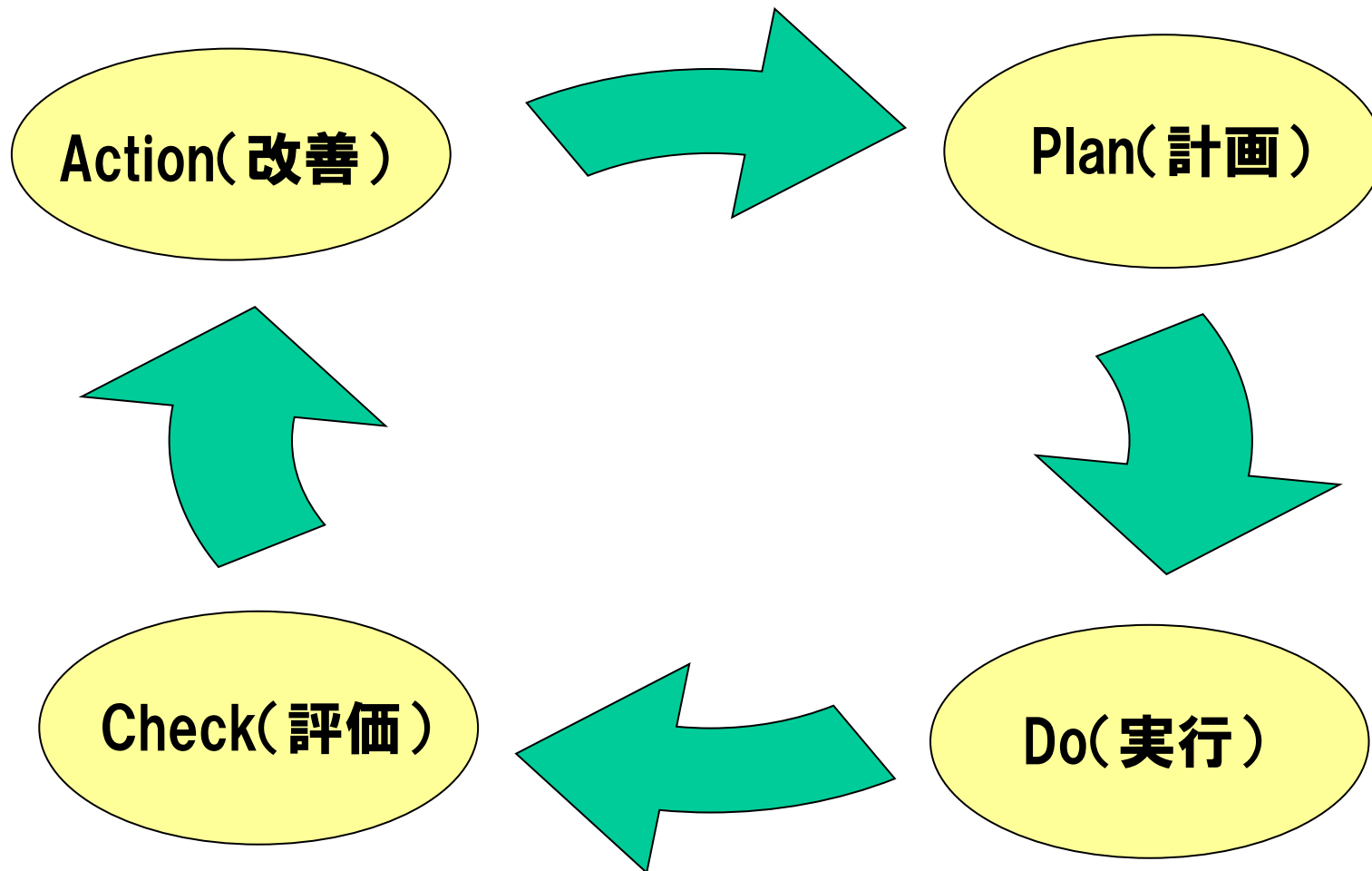
PDCAサイクル



PDCAサイクル

- PDCAサイクルは、民間企業の経営活動において、計画通りスムーズに進めるための工程サイクルである。
 - PDCAサイクルという名称は、一連のサイクルが4段階からなることから、その頭文字をつなげている。
- ① **P**lan(計画): 従来の実績や将来の予測などを考え、経営計画を作成する。
 - ② **D**o(実行): 経営計画に沿って事業を実行する。
 - ③ **C**heck(評価): 事業が計画にそっているかを確認する。
 - ④ **A**ction(改善): 事業内容を計画をふりかえり改善する。

PDCAを意識することが大事



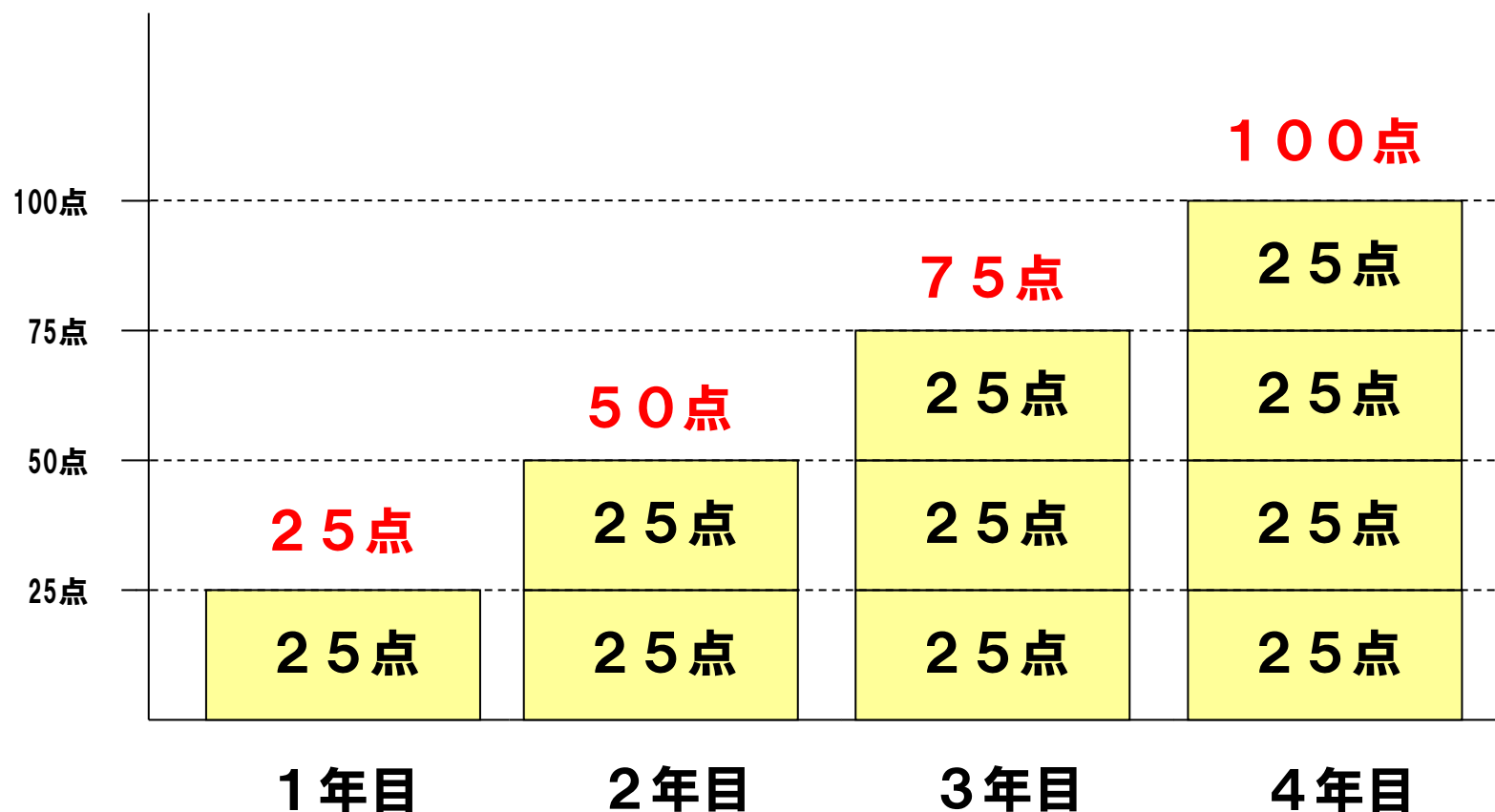
評価の体制

- マニフェストの評価は、①**内部評価**、②**外部評価**、**の2形態を採用することが望ましい**(内部評価しか実施していない評価は説得力をもたない)。
- 内部評価も外部評価も、同じ評価基準を用いて実施することが望ましい。
- 内部評価と外部評価の結果に大きな差がつく場合は、どちらかに問題がある。

① マニフェストとは何か

及第点の一視点

※今回の期間は、2019年度～2022年度(2022年度は9月定例会まで)である。



評価結果の捉え方

- 低い評価は、真摯に反省し、次のマニフェストに反映させていかなくてはいけない。マニフェストを評価する一つの視点として、設定の時点で間違えていたことも顕在化できる(例えば、権限がないということや想定以上に財源がかかるなど)。
- 低い点数はやや見込みの甘さがあったと言える。これらの結果をいかすことにより、次のマニフェストを検討する際に大いに貢献する。
- その意味では、マニフェスト通り実施できないことをマイナス視するのではなく、できなかったことを「なぜできなかったのか」と検証するために役立てていく必要がある。
- マニフェストの評価は、モノサシとして活用し、次に活かしていくことが大切である。

マニフェストの現状と課題

- 今日、首長のマニフェスト評価は、ほとんど行われていない。特に議会（会派を含む）は、ほとんどない（議会基本条例があるところは、本来は同条例の検証が必要である。しかし見直しも少ない）。
- 議会は予算編成権と執行権がない。そのため①どれだけ質問を行ったか、②その質問に対して執行機関がどれだけ動いたか、により評価せざるを得ない。
- 評価結果をもとに、次の選挙の公約を考えるのが「PDCAをまわす」という意味である。しかし、評価はほとんどされていない（その意味では、今回の意義は大きい）。

評価方針・評価基準



評価方針 (1) 評価対象

- 評価対象は、行政活動15項目と議会改革(1項目)の合計16項目から構成している。
- 今回のマニフェスト評価は、16項目を評価の対象とした。



民主改革さいたま市議団
基本政策『市民と共に明日を創る』2019

明日のために改革を！

1. 行政の透明化推進と情報発信の充実強化
2. 市民・事業者等との協働・連携を活かした公共サービス拡充
3. 持続可能な行財政運営とコンプライアンスの徹底

明日の世代を育みます！

4. すべての子どもと若者に夢とチャンス
5. 社会全体で子育てを支えるまち
6. 生涯に渡って学びたいときに学べる場の提供

明日に向かっていきいきと！

7. 歳を重ねても障害があっても地域で暮らせるまち
8. 働きたいと希望する全ての人が働けるまち
9. さいたま市の特徴・強みを活かした経済活性化

明日のまちをつくります！

10. エネルギーの地産地消の推進とみどり豊かな都市の創造
11. 災害時に命と暮らしをまもる地区防災力の強化向上
12. 暮らしを支え活力を生み出す交通体系の構築と都市基盤整備

明日の力は市民の力！

13. 多様な個性・価値観と人権が尊重されるまち
14. 誰もが健康で心豊かに文化・スポーツにふれあえるまち
15. お互い様に助け合える地域づくり

市民とともに！ ～議会の「見える化」の推進を～

- ・ 政務活動費のインターネット公開の推進
- ・ 市民との双方向コミュニケーションの機会の拡充
- ・ 市民の声に基づく政策提案の拡充

評価方針 (2) 評価材料

- ① 各項目につき、議会での各議員の発言の有無を確認した(本会議、委員会、予算委員会、決算委員会等)。
- ② ①を参考としつつ、執行機関の取組み状況を概観した。概観した視点は、執行機関においてどれだけ実行され実現しているか(実行実現性)、また今後の拡大の可能性(拡大予定生)を把握した。
- ③ ①と②を確認し、評価委員会の各評価者により、各項目について5点満点で評価した。
- ④ なお、大学生(21名)も評価している。ただし、大学生は1人あたり3項目程度の評価としている。

民主改革さいたま市議団基本政策 「市民と共に明日を創る」評価体制

民主改革さいたま市議団

①評価依頼

②評価結果

【評価委員会】

【学識者評価】

- ・ **城山佳胤**
帝京平成大学健康医療スポーツ学部教授
- ・ **高橋恒夫**
社会構想大学院大学客員准教授
- ・ **牧瀬稔**
関東学院大学法学部准教授

【大学生評価】

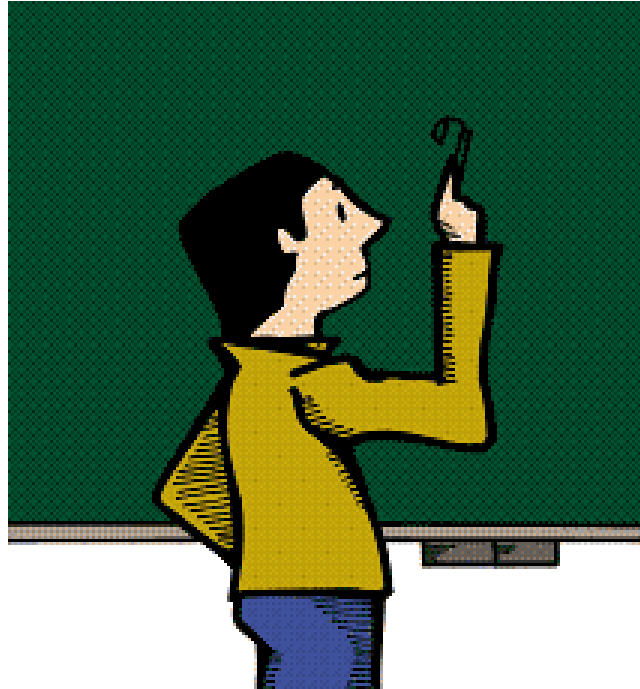
牧瀬稔ゼミナールに所属する
21名の大学3年生

※牧瀬が評価結果を取りまとめた。

評価基準

基準	点数	備考(判断基準)
会派で質問、要望して、 行政(もしくは議会)が着手し 実現している	5点	(優) 質問か予算要望、提案をして行政(もしくは議会)が 着手し、何かしら結果を導き出している場合
会派で質問、要望した結果、 行政(もしくは議会)が着手した	4点	(良) 質問か予算要望、提案をして行政(もしくは議会)が 何かしら着手したと判断される場合
会派で検討して、 質問、要望をした	3点	(可) とりあえず質問か予算要望、提案をしている場合
会派で検討したが、 質問、要望はしなかった	2点	(不可) 会派で検討した経過は見られるが、 議会(定例会や委員会等の公式の場で)質問か 予算要望、提案をしていない場合
会派で(まったく)検討していない	1点	(評価に値しない) 会派でまったく検討していないと判断される場合

評価結果



評価結果 (1) 個別評価

- ① 明日のために 改革を！
- ② 明日の世代を はぐくみます！
- ③ 明日に向かって いきいきと！
- ④ 明日のまちをつくります！
- ⑤ 明日の力は 市民の力！
- ⑥ 市民とともに！ ～議会の「見える化」の推進を

①～⑤は各 3 項目、⑥は 1 項目の
合計 16 項目を評価対象とした

【行政】明日のために改革を！

<有識者>

／ 5点

<大学生>

／ 5点

<有識者コメント>

- SNSの活用、マスメディアとの連携、区役所からの情報発信、DXの推進について、積極的な質問を通じ、行政側の動きを誘導していることから着手は認められる。
- 水道事業におけるコンセッション方式の導入や公園整備、マイクロプラスチック問題対応など積極的な提案がみられるものの行政側の着手を引き出すには至っていない。
- PPPの視点に立ちその長所を踏まえた質問は積極的で活発である。政策をよく勉強し行政への気づきを誘っている点で着手と同等の効果をもたらしつつあるとみることもできる。

③評価結果

【教育】明日の世代をはぐくみます！

<有識者>

／ 5点

<大学生>

／ 5点

<有識者コメント>

- 全般に活発な質問。夜間中学校、外国ルーツの子どもの就学状況調査、民設放課後児童クラブへの新たな支援、インクルーシブ教育などで新たな着手（調査研究等を含む）が認められる。
- 質問数は少ないが、公民館ビジョンを問い、WiFi設置など環境の改善を図り、図書館行政への目配りにおいて行政の改善活動を促している。社会教育は効果測定に長期を要するが、地道な活動を促す質問は評価されるべき。

③評価結果

【健康・福祉】明日に向かっていきいきと！

<有識者>

／ 5点

<大学生>

／ 5点

<有識者コメント>

- 障害者の就労支援、生活困窮者支援など多岐にわたる質問がなされ、来年度以降検討の答えが多くある。更年期問題など特筆すべき指摘、提案には行政も積極的に検討する旨答えているが総じて、提案＋αの段階に留まり着手とは見えないものが多い。
- 岩槻の人形、NPO法人への支援策、歴史的資源の活用、さいたま市のブランディング、道の駅、経済対策など多岐にわたるが、総じて検討する旨の回答が多く、そのうち着手とみられるものは2割から3割程度のため質問要望レベルと判断せざるを得ない。

③評価結果

【まちづくり】明日のまちをつくります！

<有識者>

／ 5点

<大学生>

／ 5点

<有識者コメント>

- 防災における災害医療体制からブロック塀、防犯カメラ、荒川等氾濫対策（道路冠水）、水道事業の危機管理まで多岐にわたる質問が活発である。予算化された事業と質問との条件関係が明確ではないが、概ね行政側の積極的答弁を導いていることから、総じて着手したとの評価が可能である。
- 高齢者・障害者の移動支援については質問要望レベルといえるが、スマートシティ推進、ウォーカブルなまちづくり、特色ある公園については具体的かつ熱心な質問が行われて行政の着手を引き続いて獲得しているとの評価が可能である。

③評価結果

【市民力】明日の力は 市民の力！

<有識者>

／ 5点

<大学生>

／ 5点

<有識者コメント>

- 多文化共生(外国人支援)、ヘイトスピーチ、DV,男女共同参画いずれにおいても活発で熱意のある質問が行われており、行政側の執行継続・拡充に寄与していることから着手と同等と評価するのが相当。
- SDGs、文化芸術都市づくり、スポーツビジネスのまちに加え伝統技能、障害者のスポーツにも注して活発な質問が行われている。行政側も質問の趣旨に沿った活動の継続見直しに意欲的である。eスポーツの伸展など文化スポーツに係る着手があると評価できる。

【議会改革】市民とともに！ ～議会の「見える化」の推進を

<有識者>

／ 5点

<大学生>

／ 5点

<有識者コメント>

- 政務活動費のインターネット公開、議会のDX化など実現している。
- ICTの活用と相まって市民となる小中高の生徒の議会体験が実現している。
- 新型コロナ対策や堆積土砂問題、物価高対策等について市民の声を踏まえた迅速な動きがみてとれる。公民連携による市民サービスの向上、犯罪被害者のための条例化、社会福祉、人権保障に係る意見書の採択など実現させている。

評価結果

<有識者>

●合計点

/80点

●達成率

/100%

<大学生>

●合計点

/80点

●達成率

/100%

総合評価は「」と判断される

③評価結果

大学の成績評価に当てはめると・・・



点数	評価		コメント
100～90点	S	秀	特に優れた成果を残した公約（マニフェスト）
89～80点	A	優	優れた成果を残した公約（マニフェスト）
79～70点	B	良	妥当と認められる成果を残した公約（マニフェスト）
69～60点	C	可	合格と認められる成果を残した公約（マニフェスト）
59点以下	D	不可	合格と認められる成果を残していない公約（マニフェスト）
未評価	F	未評価	公約（マニフェスト）を実施したには値しない

③評価結果

<有識者評価>

③評価結果

<大学生評価>

おわりに



おわりに

- 評価結果は、100点満点で89点となった。評価の対象期間を約3.5年と考えるならば及第点である。
- ただし、中間報告に時と比較し、大きな前進は見られなかった。
- 有識者は「前にやった分よりは行政側の着手の状況を視野に入れて評価を行いました。前回の時よりそのせいで厳しくなっているかもしれません」と言及している。
- そのため評価に大きな前進が見られなかったこともあるが、会派なりに中間報告から、今日まで、大きな前進が見られなかったことを検証してほしい(中間報告が良すぎたということもある)。

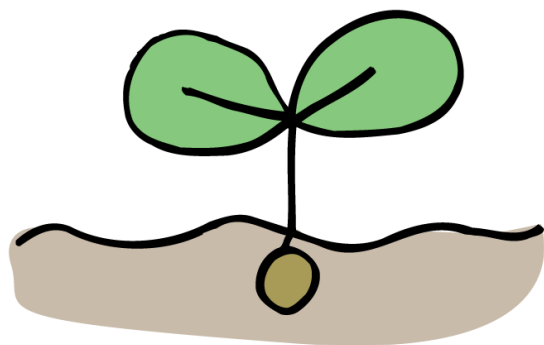
おわりに

- 今回のマニフェスト評価の結果を受けて、次期のマニフェストを検討することになると思う。
- 最初にも言及したが、近年はマニフェストの提示が少なくなっている。マニフェストを掲げずに選挙戦に臨んでいる(人気投票になっている)。
- マニフェストがないため、評価を実施ない傾向も強くなっている(PDCAをまわしていない)。
- 民主改革さいたま市議団は、そうならないようにしていただきたい。
- 引き続き、マニフェストに真摯に取り組んでいただき、他会派、他議会のモデルとなるような、マニフェストサイクルを形成してほしい。

ありがとうございました。

ご意見・ご質問などは、

makise@kanto-gakuin.ac.jp にご連絡下さい。



牧瀬 稔